

「九条の会」愛知・大学人の会 Zoom 講演会

講師 加々美光行 (愛知大学名誉教授 アジア経済研究所名誉研究員)
**「巨大国化する中国の内政と外交
—カリスマ支配を目指す習近平と米中日三国関係—**

中国は2010年にGDPで日本を追い越し、2021年現在今や日本の3倍のGDPを誇り、アメリカの61%に達している。この趨勢からすると2020年代末にはGDPでアメリカに追いつき、世界第一の巨大国家に化すことは間違いない。バイデン政権がこうした事態を座視するはずもなく、「中国は新疆でジェノサイドを行っている」との情報を流布し、中国包囲戦を展開している。日本は基本的にこの米国の対中戦略に加担している。ただ、この情報には基本的な何時何処でどのようなジェノサイドがなされたかといった詳細が不明で、依然、充分信頼に足るものとは言えない。むろん新疆での漢民族による普遍的なウイグル民族抑圧政策があることは確かだが、それだけで「ジェノサイド」論を主張することには無理がある。確かに習近平政権は自国の巨大国家化に適合すべく、政治的に毛沢東時代のように中国を中央集権化しようとしている。最近の「教育改革」もその一例である。しかし習には毛のような集権化に必須のカリスマ性に決定的に欠けている。毛はまずカオス(無秩序)の上に立つ独裁者である。これに比し、習は既に近代化を高度に達成した国家の指導者であり、近代のコスモス(秩序)の上に立つことしかできない独裁者である。

日時 : 9月19日(日) 13時30分～16時

【スケジュール】 講演 13:30～15:00 質疑討論 15:00～16:00

【Zoom申し込み先】 (yhadachi@khe.biglobe.ne.jp) TEL090-3033-1882

《締め切り:9月18日17:00》

**主催 : 「九条の会」愛知・大学人の会 協賛 : 愛大九条の会 名大九条の会 九条の会岐阜大ネット
安全保障関連法に反対する愛知学院大学有志の会**